

令和3年 第4回 市議会定例会

市長所信表明(要旨)

蕪崎市

本日ここに、「令和3年第4回市議会定例会」の開会にあたり、提出いたしました案件のうち、主なるものにつきまして、その概要を申し上げ、併せて、私の所信の一端を申し述べ、議員各位、並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

新たに発足した岸田内閣は、「新型コロナウイルス対策と経済再生に全力を挙げる」とし、また「新しい資本主義」の構築を掲げ、成長と分配の好循環とコロナ後の新しい社会を創り上げる考えを示しております。

直面している国難を乗り越え、誰もが取り残されることなく、安心して生活できるよう全力で取り組んでいただくことを期待するものであります。

猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の第5波は、全国的に新規感染者数が減少し、本県においてもゼロの日が続くなど、落ち着いている状況となっております。

先月下旬から、飲食店等の時短営業が解除され、今月からはイベント参加人数の制限緩和など、徐々に経済活動が正常化しつつあります。

加えて、我が国のワクチン接種状況につきましては、77%と世界的にも高く、本市においても今月28日現在で、2回目の接種を終えた方が85%と多くの市民の皆様が接種を済ませているところであり、以前に比べ、感染への不安が和らいでいる状況を感じております。

一方、本格的な冬を迎えるにあたり、専門家からは第6波の感染拡大<sup>だいろっば</sup>について、警鐘が鳴らされていることから、楽観視することなく、今後も適切な対応を進めていく必要があると考えております。

このため、3回目のワクチン接種の備えとして、9月末に国の方針が示されましたので、現在、接種券の発送などの作業を進め、<sup>だいろっば</sup> 蕪崎市医師会や関係団体のご協力をいただきながら、希望する人がスムーズに接種できるよう努めるとともに、引き続き、基本的な感染対策の徹底を呼びかけ、市民の皆様のご安心確保に取り組んでまいります。

また、これまで緊急支援金等の対象外であった理容・美容業をはじめ、観光農園やクリーニング事業者などに、「くらし関連地域事業者支援金」を給付することとし、事業継続及び再開を応援してまいります。

さて、本市の宝である「わに塚のサクラ」の樹勢回復に必要な費用を、ふるさと納税型クラウドファンディングで募りましたところ、2か月余りで市内外の皆様から総額382万円を超えるご寄附をいただきました。

いかに多くの方が「わに塚のサクラ」を愛してやまないことを改めて認識したところであり、かつての樹勢を取り戻すことによって、毎年、満開に咲く元気な姿を観賞できることを期待するものであります。

また、先月30日の「甘利山クリーン大作戦」は、爽快な秋晴れの中、総勢160名のご協力をいただき、昨年度に引き続き、実施することができました。

これらの取組みにより、来年以降も色鮮やかな「レンゲツツジ」が咲き誇り、多くの方々に愛でられることを願っております。

さらに、今月10日の「平和観音建立60周年記念事業」では、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を願い、一般社団法人菰崎市観光協会を中心に菰崎市建設安全協議会並びに東京電力パワーグリッド株式会社山梨総支社のご協力を得る中で、平和観音像の清掃作業を実施いたしました。

おかげをもちまして、すっきりしたきれいな姿となり、本市を代表するランドマークとして、市民との協働により、大切に保存しながら、後世に伝えてまいりたいと考えております。

今後も、市民の皆様をはじめ、本市を応援してくださる方々とともに、地域の宝を守り、伝え、活用し、ふるさと菰崎として誇れるまちづくりを推進してまいります。

次に、本年度の主な事業の動向について申し上げます。

まず、スポーツ活動の充実についてであります。

市営体育館及び総合運動場の整備につきましては、PFI等公民連携事業に必要なプロセスとして、事業者選定委員会を開催し、実施方針や要求水準書の公表を進めたところであります。

また、現地説明会及び個別対話の場を通じて、本事業に関心をお持ちの複数の民間事業者と具体的に意見交換を行い、明年1月の入札公告に向け、今議会に債務負担行為の設定を提出しております。

今後は、選定スケジュールに従い、事業の推進を図ってまいります。

次に、地域文化の創造・継承についてであります。

縄文時代の日本各地の土器や土偶などに対するファン投票が過日行われ、本市の「ミス石之坪」が第2位を獲得いたしました。

市民の皆様をはじめ、ファンの方々からの熱い応援とご協力に感謝申し上げます。

今後も観光分野での活用や情報発信などにより、地域の活性化につなげてまいります。

また、本年4月にリニューアルした大村家住宅の隣接地につきまして、株式会社システムズ及び一般財団法人大村財団より寄附の申し出があり、これを受納いたしました。

既存のセミナーハウスなどとともにも当該地を一体的に利用し、市内外から訪れる方々の交流拠点や観光資源として活用してまいります。

次に、防災体制の強化についてであります。

災害時における共助力の向上を図るため取り組んでおります「機能する自主防災組織の再編等」につきましては、9月に実施したアンケート調査結果を踏まえ、地域の実情に即した組織づくりに向け、現在、地区との協議などを進めているところであります。

また、新型コロナウイルスの感染拡大により、実施を見合わせておりました、葦崎工業高校での特定地区総合防災訓練などは、明年1月30日に行うことといたしました。

次に、商業の振興についてであります。

来月から計4回の「女性のための起業セミナー」を開催いたします。

セミナーは、オンラインによる講座のほか、先輩起業家への見学ツアーを企画しており、受講後のフォローアップも通して、女性の活躍の場を創設し、魅力あるまちづくりを目指してまいります。

次に、穂坂地区工業団地造成事業についてであります。

これまで、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ株式会社との協議を重ねるとともに、農用地区域からの除外手続きや地権者を含む関係者への説明会などを進めてまいりました。

この度、多くの方々から賛同を得られる見込みであることと、各種手続きの許認可等の見通しにより、用地取得費などの資金を葦崎市土地開発公社が借入れるため、今議会に本造成事業費に係る債務負担行為の設定を提出しております。

引き続き、ご理解とご協力を得る中で、早期完成を目指して、鋭意、取り組んでまいります。

次に、農林業の振興についてであります。

モモせん孔細菌病による栽培への影響がいまだに報告されていることから、被害を防止するため、昨年度に引き続き、防除対策を実施した農家に対し、費用の一部を補助するとともに、ブドウにつきましても、べと病ばんぷびょうや晩腐病が昨年同様に発生した状況を鑑み、本市独自で薬剤散布にかかる費用の助成を行い、県内でも有数の産地として、来期の生産に向けた対策を進めてまいります。

次に、国際交流の推進についてであります。

今月2日に、フェアフィールド市長をはじめ、交流協会会長ほか関係各位のご臨席のもと、「姉妹都市締結50周年記念オンラインセレモニー」を開催し、これまでの歩みを掲載した50周年記念誌の披露や、事業の重要性などを再確認するとともに、今後の継続について合意したところであります。

特に、学生の海外派遣は、将来の進路や視野が広がる有意義な事業でありますので、明年度には安全に実施できる状況となり、再開できることを願っております。

次に、本日提出いたしました審議案件につきましては、先の9月議会以降の新たな行政需要に対応するため、条例等の改正のほか、予算につきましても補正の必要が生じたので、対処いたしましたところであります。

これにより、今議会でご審議をお願いする案件は、

予算案件	4件、
条例案件	5件、
その他案件	2件であります。

このうち、一般会計補正予算案について、その概要を申し上げます。

今回の補正につきましては、市民税、固定資産税の増額補正、民間給与との格差に基づく給与改定による期末手当の減額補正及び新型コロナウイルス感染症対策関連事業費のほか、緊急性を生じた諸事業を中心に編成したところであります。

まず、議会費につきましては、職員給与費の減額など、総額22万円を減額補正しております。

次に、総務費であります。

将来の投資的事業に備えるため、公共施設整備基金への積立金に2億210万円、企業版ふるさと納税により、まち・ひと・しごと創生基金への積立金に1,000万円を計上するなど、総額2億1,068万2千円を増額補正しております。

次に、民生費であります。

放課後等デイサービスの利用者の増により、障害児通所支援事業費に3,844万2千円、<sup>わたくしりつ</sup>私立の保育所等に在籍する園児の増加による保育委託料の増額など、子ども・子育て支援事業費に5,100万2千円、令和2年度の生活扶助費等国庫負担金などの精算により、4,428万6千円を国庫支出金等返還金に追加計上するなど、総額1億8,693万9千円を増額補正しております。

次に、衛生費であります。

3回目となるワクチンの速やかな接種体制を確保するため、新型コロナウイルスワクチン接種事業費に9,250万9千円を追加計上するとともに、市立病院の回診用X線装置の購入等のため、病院事業会計補助金を2,144万4千円増額するなど、総額1億970万7千円を増額補正しております。

次に、農林水産業費であります。

モモやぶどうの細菌病防除に対する助成経費として、果樹園芸振興事業費に245万6千円を追加計上するほか、道水路の応急的な修繕経費として、小土地改良事業費に406万8千円を増額するなど、総額933万2千円を増額補正しております。

次に、商工費であります。

商店街空き店舗対策費補助金や、起業支援補助金の申請件数の増加により、まちなか活性化対策事業費を41万7千円、中小企業等支援事業費を241万5千円それぞれ増額し、各種支援策の対象外となっていた生活関連の事業者も幅広く支援するため、くらし関連地域事業者支援事業費に1,301万1千円を追加計上するなど、総額1,500万円を増額補正しております。

次に、土木費であります。

堀切橋拡幅工事において、利用者の安全確保に万全を期するため、交通誘導員の増員等により、堀切橋拡幅整備事業費に2,099万3千円、個人住宅の新築や中古住宅購入者の助成金申請件数の増加により、持家住宅定住促進助成事業費に1,020万円を増額するなど、総額2,668万8千円を増額補正しております。

次に、消防費であります。

峡北広域行政事務組合の常備消防特別会計負担金の確定により、758万2千円、避難所で使用する災害用トイレ購入費等に、942万3千円を増額するなど、総額1,750万5千円を増額補正しております。

次に、教育費であります。

小学校施設管理事業費に、甘利小学校の駐車場を新たに整備するための測量、分筆業務及び土地購入費に1,216万3千円、中学校施設管理事業費に、葦崎西中学校の空調機の修繕費として、505万8千円を増額補正する一方、竜岡地区圃場整備事業に係る埋蔵文化財調査対象面積の確定により、公共事業埋蔵文化財確認等調査事業費を8,000万円減額するなど、総額8,292万9千円を減額補正しております。

また、先にご説明いたしましたとおり、債務負担行為につきましては、市営新体育館及び総合運動場の整備・運営事業のため69億8,500万円、葦崎市土地開発公社の借入に対する債務保証として16億1,000万円などを追加補正しております。

以上の結果、一般会計補正予算額は、4億9,270万4千円を増額補正となり、現計予算額は、153億5,036万4千円となります。

次に、特別会計、企業会計の補正予算案についてであります。

国民健康保険特別会計につきましては、一般被保険者療養給付費等保険給付費の増などに対応するため、1億9,132万1千円を増額補正しております。

介護保険特別会計につきましては、居宅介護サービス給付費等保険給付費の増などに対応するため、総額1億411万7千円を増額補正しております。

病院事業会計につきましては、患者数及び診療点数の増加見込みや新型コロナウイルス感染症対策に係る県補助金の増により、病院事業収益を2億270万4千円増額し、病院事業費用におきましても、薬品費や診療材料費を増額するなど、969万6千円を増額補正しております。

その他の案件につきましては、いずれもその末尾に提案理由を付記しておりますので、よろしくご審議のうえ、ご議決あらんことをお願い申し上げます。

結びにあたり、議員各位におかれましては、寒冷のみぎり、ますますご健勝にてご活躍されますことを衷心よりご祈念申し上げまして、私の所信といたします。

令和3年11月30日

葦崎市長 内藤久夫